

AIDS UPDATE

No.49 2004.12.16

広島大学病院

エイズ医療対策室

内線5581 (輸血部長室)

Internet: www.aids-chushi.or.jp

『HIV検査について』

HIV感染リスクを伝えて検査を勧める
医療者のためのガイドブック Ver.2

■ 2004年現在、①手術前医学管理、②輸血・凝固因子製剤使用後、③間質性肺炎などエイズを疑う症状がある場合、④性感染症が診断された場合に、HIV抗体検査に保険適用が認められています。

■ 無症状の人のために厚生労働省は保健所検査とエイズ拠点病院での検査費用を補助しています。広島県と本院は契約を結び、検査を希望される方に、1,830円の自己負担の元に検査を提供しています。連絡先は対策室で、河部看護師がお受けします。

連絡先: Tel 082-257-5351

■ パンフレットは残部がありますから必要部数をお知らせ下さい。

■ 2004年12月9日～11日、静岡にて第18回日本エイズ

第18回日本エイズ学会

<http://aidsgk18.umin.jp/index.htm>

学会が開催されました。広大病院からは、「カウンセリング」、「看護研修報告」、「肝移植」で4例の発表を行いました。なお、今回の学会では、輸血部藤井輝久助手発表の「HIV/HCV重複感染の血友病患者における生体肝移植例」が優秀演題に選ばれています。

■ 3日目のセッションでは、治療の手引き最新版『HIV感染症治療の手引き第8版』が配布されました。治療ガイドラインとしてご利用ください。

COLUMN

～エイズ学会参加記～

エイズ医療対策室の河部です。先日静岡にて開催された「第18回日本エイズ学会」に参加しました。この学会はHIV診療に携わる医療関係者はもとより、患者支援にあたるNPO 団体、またHIVの研究をされている各研究者達が一同に集まり、日々の成果を発表・報告するとともに興味深い学会です。今年は当院で開催している「中四国の拠点病院対象の看護師研修会の評価と今後の課題」という演題で発表してきました。学会発表は初めてで発表するまで大変多くの方に協力していただきました。言いたいことが山ほどあり、なかなか文章がまとまらず、前日までこうでもない、あーでもないと頭を悩ませて苦労しました。研修会は、今後も定期的に継続していく予定です。楽しく共に学べる研修会を企画・開催していけるようスタッフ一同頑張っていこうと思っています。院内の看護師さんにもたくさん参加していただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

【kawabe】



<ご意見募集>

「AIDS UPDATE」は今後も不定期に発行します。ご意見やご希望がありましたら輸血部までお寄せ下さい。

[TAKATA, OE]

takata@aid-chushi.or.jp